

2018年NPOほっと放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無記入 | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|-----|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | 1 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 7 | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 3 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上バリアフリーでない。 ・物件の構造上、ハード面でのバリアフリー化が困難なので、スタッフが手を貸すなど、ソフト面で対応している。今後、手すりの設置や室内のバリアフリーには取り組んでいきたい。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 2 | 5 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・計画と実施、振り返りは常に行っているが、参加はそれぞれの職員の自主性に依存している。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、年度末に独自のアンケートを配布、回収し、意見や要望の基づいて返答、改善を行っている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 2 | 1 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・作成時に公開はしていないが、公開を前提として作成している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 3 | 3 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務を会計事務所に依頼し、助言をもらっている。 ・プログラムの実施、立案を外部の講師を依頼するなど、積極的に第三者のかかわりを増やしてきたが、専門機関による外部評価は行っておらず、今後実施の検討をしていきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 7 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 5 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望があれば標準化されたアセスメントツールを用いての発達検査を行っているが、ミーティング等での情報共有以外に、こちらから主体的に子どもの適応行動の状況を図るという目的の為に数値化することはない。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | 1 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に情報交換を行っている。 ・活動プログラムの立案は、チームで行う場合、担当を決めて分担する場合、外部の講師に依頼する場合、子どもの主体性を尊重し、子どもと一緒にその都度決める場合等、プログラムに応じて様々な方法を併用している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 3 | 4 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・能力的、設備的にできることはどうしても限られてくる。子どもの主体性にゆだねる場合もプログラムは往々にして固定しがちなので、利用者のストレスにならない範囲で変化を促していきたい。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 4 | 3 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・時間が長い長期休暇中には、時間が長くないとできないような課題やお出掛けを設定している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 4 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・日による ・今後、意識をして話をする時間を設ける。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 3 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・日による ・今後、意識をして話をする時間を設ける。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 7 | | | | | |

2018年NPOほっと放課後等デイサービス自己評価表

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | 1 | 1 | | ・保護者のモニタリングとあわせて、本人とのモニタリングも行う。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 6 | 1 | | | ・曜日により違いはあるが、英語や音楽などを通じたSSTと創作活動を課題とし、地域交流と余暇支援を余った時間に行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | | | 1 | ・勤務体制、勤務時間に応じてその時々最適な人選がなされている。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 7 | | | | ・保護者の意向、必要性に応じて適宜行っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 2 | 2 | | ・該当者がいない ・過去には、てんかんの発作を持つ子などの主治医との連絡体制はあったが、現在は卒業していない。 ・ケア必要な子なし。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | 1 | | | ・小学1年生の多くは当法人の児童発達支援から上がってくる場合がほとんどで、担当者からの引継ぎという形で情報共有を行っている。 ・保護者から要請があれば対応する。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 3 | 3 | | ・要請がない ・今後、ニーズに伴い情報提供を行っていく。 ・保護者からの要望があれば対応する準備はあるが、個人情報保護の観点から、こちらから積極的に情報提供することはない為、要望がないので実施はまたない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 3 | | 1 | ・職員が研修に参加 ・助言は保護者の要望があれば |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 2 | 5 | | ・地域の公園や利用児の兄弟との交流 ・当法人の利用者には地域の学校に通うボーダー層の子どもが多くおり、同じ空間に支援学校へ通う子、地域の学校に通う子が共存している為、地域の学校に通う子には普段から障がいのない子と接していて、支援学校に通う子も地域の学校に通うボーダーの子と接する機会が事業所内にある為、児童館等にわざわざ出向くことはない。 ・ほぼない。地域の公園、イベント、行事の際の兄弟姉妹。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | 1 | | 1 | ・業務に差し支えない限り参加している。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 7 | | | | ・できる限りの情報共有を行い、共通理解に努めている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 3 | 1 | | ・不定期で学習会を実施したり、個別に子どもへの対応について意見を述べることはあるが、それら全てがペアレントトレーニングと呼べるようなものは疑問。学習会については時間や場所の制約から頻度は減っている為、今後実施検討していきたい。 |
| 保護 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | 1 | | | ・契約時に行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | 1 | | | ・要望があれば事業所内相談を実施し、それ以外にも、来所の際、メールや電話に与つ連絡の際に聴き取りを行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 6 | 1 | | ・お出掛け、キャンプ、フェスなど。 ・レスパイトを求める保護者のニーズが高くなり、本当に必要とされているか疑問であるが、今後も継続的に親子参加のイベントを企画し保護者間交流の手助けはしていきたい。 |

2018年NPOほっと放課後等デイサービス自己評価表

| | | | | | | | |
|-----------|----|---|---|---|---|---|--|
| 三者への説明責任等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | 3 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後周知する方法を考える。 ・苦情、要望に対して、その都度、協議し出来る限りの対応を行っている。 ・対応はしているが、体制を整備しているかと言われるとわからない。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 7 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日更新しているブログ、ホームページでの発信の他、月間のお知らせ、季刊のNPOのお知らせも発行している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 7 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの棚に保管する以外にも、個人名、顔写真の扱いには常に注意している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 7 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内では絵カード、ホワイトボードを使った筆談など、連絡事項や提出物は電話、FAX、メールなど様々な手段を選択できる様にしている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 4 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・フェスなど。WEBでの告知は行っているが、個別に招待はしていない。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 2 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル作成、策定をし、職員への周知のみになっていたため、保護者にも周知を行う。 ・マニュアルは策定、周知を行い、適宜、直近で必要になると思われる内容をお便りに抜粋したりしているが、基本的に事務所に保管してあり、保護者が常時確認することはできなかった。今後ホームページ上で公開し、いつでも閲覧できるようにするなどの対応を検討している。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | 3 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行い、その周知も行う。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護研修参加。 ・一部職員が外部研修に参加、内容を事業所内研修にて説明し、情報共有を行った。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 2 | 3 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者には契約時に説明し、了解を得ている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 2 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・いままで保護者からの聴き取りのみの対応だったので、医師の診断書をもらえるように保護者に声掛けを行う。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットをまとめたファイルは存在するが、項目ごとに編纂された事例集ではない。 |